

奥尻・福島商、八雲下す

上ノ国・松前、江差も初戦突破

夏の高校野球予選

函館支部

◇函館支部
(函館オーシャンスタジアム)

<Aブロック>

函ラサール	30日14:00
奥尻・福島商	1-0
八雲	4日9:00
上ノ国・松前	7-0
大野農	1日9:00
江差	7-6
七飯	7-6

<Bブロック>

函工水	28日9:00
函中部	1日11:30
函中茅部	28日11:30
函柏稲内	4日11:30
函高森	28日14:00
函大有斗	1日14:00
函大谷	29日9:00

<Cブロック>

函山稜北	29日11:30
函西	2日10:00
函上磯・長万部	29日14:00
函商	4日14:00
函市函館	30日9:00
函大有斗	2日12:30
函大谷	30日11:30



[大野農一上ノ国・松前] 7イニングを18奪三振で零封した上ノ国・松前の主戦足田(岩崎勝撮影)

第98回全国高校野球選手権南北海道大会(道高野連など主催)の函館支部予選は1回目の27日、函館市千代台町の函館オーシャンスタジアムでAブロック1回戦3試合を行った。奥尻・

福島商は八雲を1-0で制し、上ノ国・松前は大野農に7-0でコールド勝ちした。江差は七飯に7-6で競り勝った。(信岡悠)

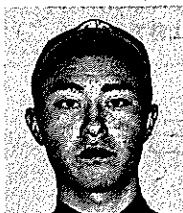
八雲は一回2死で3番藤池が右中間に一塁打を放つたが、後が続かなかった。大野農は1回3死で2点を追加し、大野農を笑き放した。先発投手は7回1-23球を投げ、三振18を奪った。

大野農は六回2死、4番菅井が右前打で出塁して敵失で三塁まで進んだが、後続が倒れた。大野農は六回2死、4番菅井が右前打で出塁して敵失で三塁まで進んだが、後続が倒れた。

安打や四球、敵失で一塁4点を奪つて逆転し、追い付かれた後の7回にも1点を奪つて勝ち越したが、リードを守れなかつた。

▼一番心に残る試合

「小学生で野球を始め、今まで一番心に残る試合だった」。七飯主将の田代慎太郎投手(3年)=写真=



江差には春の練習試合では、接戦を逃したもののが充実の表情を見せた。

江差は一回に1点を先制し、三回に2点を追加。逆転された五回は辻の左越え三塁打などで2得点し、すかさず同点とした。1点を追う八回は1死から鈴木の内野安打、出崎の右越え三塁打で2、三塁とし、捕逸と犠飛で2点を奪つて再び試合をひっくり返した。七飯は2点を追う五回、

10点以上の大差で負けたが、この日の試合は途中、2度も勝ち越した。「長い時間、皆で集中を切らさずに戦えた。悔いはない」と前を向く。

試合中、声を絶やすず

チと後輩にエールを送る。

1点を引つ張つた。8イニングで165球を投げ、自責点は1。打つても4打数

2安打1打点と活躍した。夏の大会が終わり、3年生5人が抜けるとチームは1年生9人になる。「練習や大会の経験をつけなげ、いい試合をつくつてほしい」と後輩にエールを送る。

奥尻・福島商は六回、1死から2番近藤、3番伊藤が連続左前打で出塁。4番高田は四球を選んで満塁とし、5番管藤が中犠飛を放つて1点をもぎ取つた。先

頭打者の1番小野寺が右越え三塁打、2番川島が左前打、3番堀川が右翼線一塁打と3連打を浴びせ、一ゴロの間の生還もあって3点を先制。四回は2死三塁から、再び小野寺、川島の2連打などで2点を追加し、大野農を笑き放した。先発投手は7回1-23球を投げ、三振18を奪つた。

(大)渡辺一塙谷

(上)正田一秋田

▽三塁打 堀川、小野寺(上)

△二塁打 堀川、小野寺(上)